



学校だより

文武両道に長けた元気な学校



一中さん

蕨市立第一中学校
令和4年度
第5号(夏休み号)

夏休みを迎えるにあたって

校長 板橋 利行

1学期が終わり、夏休みを迎えます。振り返れば、今年度も制限が多い中でしたが、保護者・地域の皆様のご協力により、予定していた教育活動は概ね実施することができました。この7月にも、期末テスト、保護者会、学校評議員会など、ご協力をいただきましてありがとうございました。

知識をもつことの大切さ

さて、今月8日に、埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」から講師をお迎えし、非行防止教室を行いました。まだ、全校で体育館に集まれないため、教室でのオンライン開催ではありましたが、しっかりと学ぶことができたようです。

非行と言えば、喫煙や飲酒、深夜徘徊、無免許運転などを思い浮かべる方も多いかもかもしれません。もちろん、それも含めてですが、現代的な課題として薬物、特に大麻の危険性や、SNSによる被害防止にも焦点が当てられていました。スマホ等の端末を持たせている家庭も多いと思いますが、正しく使ってこそその便利な道具です。これに振り回されたり、依存したりすることがニュースにもなる昨今、この夏休みを使って、各家庭において使用ルールの確認をぜひお願いします。その際、今回の非行防止教室についても、話題にしてください。いつの時代にも、子供たちが安心して安全に生活できるよう見守るのは、大人の役目であると考えます。

見守りと見届け

今年度の夏休みは39日あります。夏休みの格別感は誰もが経験してきたところかと思います。普

段できないことにチャレンジするのもよい機会ですし、夢中になっていることに集中する時間も作りやすいときです。一方、宿題を含めて学習を振り返るチャンスでもあります。充実した夏休みを過ごすため、お子様と一緒に学年に応じた計画を考えていただき、見守り・見届けをお願いいたします。また、配付しました「夏季休業中の家庭指導について」のお願いも再度ご確認ください、健康にも留意しつつ安全・安心に過ごせるようご指導ください。

最後に、18歳以下の自殺は夏休み明けにもっとも多いことが、内閣府が発表した平成27年版自殺白書より明らかになっています。子供でも様々な情報がネットで簡単に手に入り、つながれる時代です。そして、悩み事を一人で抱えてしまう子供がいることも事実です。

この1学期は、新しい環境の中、気遣いも多かったのではないかと思います。何か心配なことがあればぜひ学校にご相談いただきたいと思います。相談しにくい場合には、下のような相談窓口をぜひご利用ください。2学期に元気に登校する生徒と会うのを楽しみにしています。

いじめ相談窓口	18歳以下の子供専用
もしかしていじめ?と感じたら、 ご相談ください。	#7300 又は 0120-86-3192
保護者専用	フリーダイヤル24時間受付
048-556-0874 24時間受付	<small>※ひかり電話、ダイヤル回線、IP電話、PHSを利用の場合や「#7300」が繋がらない地域は引き継ぎ「0120-86-3192」を利用してください。</small>
Eメール soudan@spec.ed.jp	

蕨市立第一中学校 蕨市南町 3-1-29 電話:048-442-2533 FAX:048-442-2525

次号は、8月29日(月)に発行する予定です。

お知らせ

- 1 2学期から制服での登校に戻します。これは、5月26日の通知により、教育活動の制限が一部緩和されたことを受けて判断したものです。1学期については、「制服・ジャージのどちらでもよい」としておりましたが、ほとんどの生徒がジャージでの登校を選択していました。2学期の制服着用再開について学校でも指導してまいりますが、各ご家庭でもサイズ確認等を含めてご準備、ご指導ください。
- 2 蕨市教育委員会の主導のもと、令和5年度から、部活動を「希望加入制」とするため、市内3中学校で準備を進めることとなりました。2学期に詳細をお伝えできるよう本校でも課題等について検討してまいります。
- 3 上記1とあわせて、蕨市教育委員会では「休日の部活動の地域移行」についても令和5年度から一部実施を計画しています。現在、教員へのアンケート調査を行うと共に、どのような方法が適切なのかを、先行実施している他の自治体の情報なども参考に市内3中学校と連携しながら検討を始めたところです。
- 4 埼玉県学力・学習状況調査については、令和6年度から自治体から配付されている学習端末を使用するC B T方式（Computer Based Testing）で行うこととなります。この実施に向け、県教委は学校単位でプレテストを実施してきましたが、このたび、1自治体丸ごと実施のプレテストに蕨市が協力することとなり、9月5日の実施が決まったところです。

これと関連し、キーボードでの文章入力スキルの必要性が高まりました。タッチタイピングを身に付けることで、普段の授業で入力に割いていた時間を、考えたり、話し合ったりする時間に回すことができるなどのメリットがあります。

このため、市教委は「らっこたんタイピング」という、AI技術により個人の習得度に合わせてタイピングを練習できるクラウドサービスの利用を推奨しています。学校でも隙間時間などを使って練習する時間を確保していきますが、家庭でも適切な時間設定で練習するよう指導していますので、ご承知おきください。
- 5 持ち帰った学習端末を、学習以外のこと、特に動画視聴をされていて使用時間が長くなっている生徒がいるという相談がありました。宿題や調べ学習、上記のタイピング練習などに使うため、また、急な学級閉鎖への対応ための持ち帰りですので、長時間使用による依存や視力低下などの問題が生じることを含め、正しい使用については学校で指導しております。一方、端末としての使用可能な時間設定については、今後市教委と協議してまいります。

まずは、「学習に使う」という大前提のもと、「蕨市インターネットのルール」を使用するなど家庭での使用ルールを見直していただき、ご指導ください。しかしながら、ご家庭での管理が難しい場合には、遠慮なく担任へご相談ください。また、学校保管を希望される場合は、コドモンで連絡の上、三者面談時にお持ちいただき、ご相談ください。